



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～学校だより 巻頭言として～

令和7年8月26日(火)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

～子どもたちの成長を共に支える2学期に～

長い夏休みが終わり、子どもたちのにぎやかな声が学校に戻ってきました。登校してきた子どもたちの表情には、それぞれの家庭で過ごした時間の充実感や成長のあとが感じられます。夏休み中、ご家庭での温かな見守りとご支援をいただき、大きな事故やけがもなく、全員が元気に2学期を迎えることができましたことに、まずは心より感謝申し上げます。

今年の夏は、戦後80年という節目の年でもありました。広島や長崎での平和祈念式典、全国戦没者追悼式が行われ、平和の尊さについて改めて考える機会となりました。

私たちが日々安心して過ごせるのは、多くの人々の犠牲と努力の上に成り立っていることを忘れてはなりません。そして世界には、今も争いや不安の中で暮らしている子どもたちがいることも事実です。子どもたちには、この「当たり前のように思える平和」に感謝する気持ちと、身近な生活の中で「相手を思いやり、やさしく行動する力」を育ててほしいと願っています。

2学期は、一年の中で最も長い学期です。授業日数も多く、運動会や校外学習、修学旅行など、子どもたちにとって心に残る大きな行事がたくさん予定されています。行事は、仲間と力を合わせ、困難に向き合い、自分の力を試す絶好のチャンスです。ときには思い通りにいかず悩むこともあるかもしれませんが、そうした経験もまた、子どもたちを成長させる大切な糧となります。

本校の教育目標は「誰もが楽しく幸せに過ごせる学校」です。この目標を実現するためには、一人ひとりが「どうすればみんなが気持ちよく過ごせるか」を考え、行動に移すことが欠かせません。子どもたちが自分の役割に気づき、小さな一歩を重ねていくことが、クラスや学校全体の雰囲気をもより温かく、安心できるものにしていくのだと思います。

また、子どもたちを育むうえで、地域の皆さまの存在も欠かせません。登下校での見守りや学校行事へのご協力など、日々のご支援に心より感謝申し上げます。地域の大人に見守られているという安心感は、子どもたちにとって大きな力となっています。これからも学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちを育てていければと願っています。

2学期も、子どもたちが安心して学校生活を送り、充実した学びを積み重ねられるよう、教職員一同努めてまいります。どうぞ引き続き、温かなご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

